

【第33回全国産業教育フェア さんフェア福井2023/第22回フラワーアレンジメントコンテスト】

農業クラブ「フラワーアレンジメント競技会」県大会の上位2名（安城農林1名・半田農業1名）が県代表として、10月28日（土）に開催された「全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」に出場しました。

共通テーマは『未来への輝石』、花材や資材は事前に発表されています。今回のポイントは、福井県ということで、球根付の越前水仙、野菜の皮を漉き込んだ越前和紙です。支給された花材を80%以上使用することや資材を少しで構わないので必ず使用することが指定されていました。



【歩】

明るい未来を切り拓いていく力強さと夢あふれる未来を目指す楽しさを感じられるようにの想いを込めました。

また、私が子供の頃にお花屋さんで花束を作っていたフローリストさんを見て、憧れ、目を輝かせていたあの頃の夢をつかむ、この作品に込めた想いのようにこれからも夢に向かって歩んでいきます。

本校からはフラワーサイエンス科3年生1名が出場し、惜しくも入賞はなりませんでした。審査員による個別の指導講評では、特徴的な花材であった球根付越前水仙の球根を見せることによる力強さの表現、サラシミツマタの使い方、また、一部の球根を越前和紙で包み、赤と白のフローラルテープを巻き、水引に似せたワイヤーで留める和菓子風の演出など、非常に悩んで決めたアイデアを褒めていただきました。その創意工夫あふれる中で、使い慣れた花材がやや単調なデザインに見えてしまうのが残念であったということでしたが、花材や資材の扱いなどアレンジメント制作の技術力を高く評価していただき、今後の作品制作や作品に込めた想い、夢の実現に向けて励みになりました。